

登録コード	E7103400	開講年度	2026				
授業科目	現代教育実践演習				担当教員	安達 仁美 他	
英文授業名	Practical Seminar for Contemporary Education				副担当	三和 秀平	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生	
講義室	教育N303講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			現代教育に関する基礎的な知識を得ることで、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。			
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			現代教育に関する基礎的な知識を得ることで、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける			
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	現代教育コースで磨いた専門性を生かして、後輩の臨床経験の学びをサポートし、演習を企画実施しながら、自分自身の学びをあらためて振り返ったりすることを通して、教育実践を多面的に解釈し、アカデミックな知識・技術も導入してリフレクションの質を高め合う。						
(5)授業計画	第1回：授業オリエンテーション 第2回：学びの履歴の振り返り 第3回：学びの履歴の共有 第4回：教育実習のリフレクション 第5回：演習の計画 第6回：演習の実施 第7回：グループ の演習実施 第8回：グループ の演習実施 第9回：グループ の演習実施 第10回：卒業研究中間発表会 第11回：グループ の演習実施 第12回：グループ の演習実施 第13回：グループ の演習実施 第14回：授業のまとめ（最終レポート）、授業アンケート 第2回～第13回までの内容は、順序が前後することがある。						
(6)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 ・授業のねらいの到達度を測る最終レポート(60%)、授業内の活動（40%）で評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(7)成績評価の基準	・卓越している...教育現場の現実をふまえた課題解決の手立てを考え、後輩の学びを適切にファシリテートする役割を担っている。 ・かなり上である...教育現場の課題解決の手立てを考え、後輩の学びをファシリテートしている。 ・やや上にある...教育現場の課題解決に関心を深め、後輩の学びをファシリテートしている。 ・水準にある...教育現場の課題解決に関心をもち、後輩の学びをサポートする活動に参画している。						
(8)事前事後学習の内容	授業前には、自己の臨床経験を振り返ったり、eALPS上にアップロードされた授業資料、または前時に指示された課題に取り組み予習を行うことがある。授業後には、授業中に示した課題について取り組む。						
(9)履修上の注意	・教育学部学校教育教員養成課程現代教育コースの学生に限る。 ・本講義では、グループディスカッションやワークショップ等、自分の考えを述べる場を多く設定する。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞみ、積極的に意見交流してほしい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・北校舎3階N308 安達研究室 E-mail：adachi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：メール予約で随時 ・東校舎4階E404 三和研究室 E-mail：miwas@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：在室のときはいつでも						
【教科書】	指定しない。						
【参考文献】	授業の中で随時紹介する。						